

MSR-18-097  
2018年11月8日  
三菱原子燃料株式会社

## モニタリングポストの信頼性に関する現状調査に対する回答

### 1. 外部電源喪失時の電源確保

#### (1) 非常用電源設備（専用発電機の設置を含む）への接続の有無

モニタリングポストは非常用ディーゼル発電機に接続されており、商用電源喪失時に給電されるようになっている。（非常用電源設備はモニタリングポスト専用ではない。）

#### (2) 無停電電源装置

##### ① 設置の有無

無停電電源装置が設置されている。

##### ② 設置されている場合、持続時間

持続時間は約6分。

なお、非常用ディーゼル発電機からの給電は40秒以内で所定の電圧を確立するので、給電されるまでの間も連続して機能を維持できる。

#### (3) 現時点で対策がとられていない場合

上記のとおり対策がとられているので該当しない。

### 2. データ伝送系の多様性

#### (1) 多様性確保策の有無

現在、データ伝送方式は光ケーブルによる有線式のみであり、多様性は確保されていない。伝送系が遮断された場合には、代替措置として教育・訓練された者が可搬型設備で測定を実施することが要領に定められている。また、可搬型設備は複数所有しており、それぞれ点検校正を1年に1回、作動点検は使用の都度実施しており、適切に保守管理されている。

#### (2) 多様性が確保されている場合、その手段

上記のとおり現在、多様性は確保されていない。

#### (3) 現時点で対策がとられていない場合

##### ① 今後対応する計画の有無

新規制基準対応としてデータ伝送系の多様性を確保する計画である。

##### ② 計画がある場合、その内容

データ伝送方式として無線通信方式による設備（通信装置、アンテナ、配線等）の設置のための工事を行う。

③計画がある場合、対策予定時期

当社は新規制基準対応の設工認を4分割して行う予定であるが、当該の設工認は4次申請で行い、2019年9月頃の工事を予定している。

工事完了までの期間の代替措置は(1)と同様の対応をとる。

以上